



柏床よしおの

よっしー 通信

2021年1月12日 創刊号

発行 柏床由夫後援会

神石高原町油木乙23番地2 TEL(0847-82-2022)

<http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/>

Email kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp

通信の発刊にあたって

昨年の町議会議員一般選挙から議員定数が12名から10に削減となりました。新人1名、残り9名の議員の方は再選されました。

43年間の行政経験を基に、地道な活動を目指します。

年間4回の通信の発行を予定しています。

議員として歩み始めたばかり、皆様のご支援ご協力をよろしく願います。

12月議会 補正予算

こばたけ保育所整備に、4億円の寄付金

新型コロナウイルス対策感染症対策費を含め

総額6億4774万円を補正

12月定例議会は、12月8日から21日まで開かれ、議会構成の後、補正予算条例改正などが提案され、いずれも原案どおり可決して閉会しました。

ふるさと応援寄付金4億円

全額を基金積立に

この度、神石高原町阿下出身で、東京のソフトウェア品質保証会社・SHIFT(ソフト)の丹下大(たんげまさる)社長個人から、ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)に4億円の寄付金がありました。

ひとり親世帯

臨時特別金給付事業

事業費 789.8万円

新型コロナウイルス感染症対策事業として、前回支給した家庭に追加で支給済

丹下大氏は、幼いころ阿下から新築のこばたけ保育所に通所しておられました。

こばたけ保育所の老朽化に伴う整備計画を知られ、地元へ貢献したいと寄付されました。この寄付金の財源は本年度すぐには使用しないため、保育所整備費の

1人につき3万円を支給。1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を支給。

前回支給対象とならなかった1人親世帯もそれ以後収入が減少し、補助要件に該当すれば支給される。

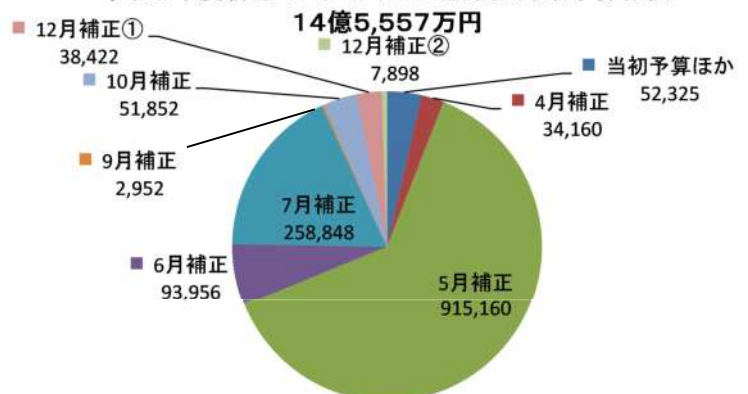
申請は2月末、問合せは子育て応援課へ。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対策予算

総額 14億5,557万円

令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策予算は、12月に2回の補正を行い、合計8回の補正予算を行い対策に取り組んでいます。(グラフ数値単位：千円)

令和2年度新型コロナウイルス感染症対策予算概要



あけまつておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、働き方も、日常の生活習慣も大きく様変わりした年でした。加えて、オリンピックも1年延期となり本年の開催となりました。(油木支所玄関前の和牛君と)

本年は新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束となる事を願うものです。本年もよろしくお願います。

二〇二一年 元旦

柏床 由夫





柏床議員の一般質問

進む農地の荒廃

問 農地の荒廃状況と対策は。

答 対応検討のため協議会を設立し取組む。

柏床「この間農業を取り巻く状況は厳しさを増している。農家の高齢化も相まって農用地の荒廃が進行している。農業委員会がこの間調査を行っているが、この10年間の推移を具体的に何ha荒廃が進んだのか。町長「本年の農林業センサスの速報値を参考に経営耕地面積で確認すると2010からの10年間で276.6ha(田192.3ha

畑76.1ha)の耕地面積が減少し、その面積が不作付地あるいは耕作放棄地として拡大していると考ええる。農地の荒廃化、不作付地の拡大は、危惧している。住民の高齢化と相まって、益々増えていくことが想定される。

町内全ての農地の荒廃を防ぐことは無理であると考ええる。真に維持すべき農地について、最後のセーフティネットのような農地維持組織が、必要ではないかと考えている。

次年度、対応検討のための協議会を設立し、農業公社を含めて町内法人や基幹農家、関係機関と情報連携を図りながら対応策を検討する。

柏床「私も調べました。直近10年で経営耕地が約21%減少、20年前の数値と比較すると、20年前と現在では経営耕地で約40%減少している。最後のセーフティネットのような農地維持組織の具体はあるのか。

町長「集落法人をまとめても経営の課題がある。田の一部を畑地の転換などして高収益作物の栽培。耕作面積の拡大を図り、若者も働けるような組織を考えている。

荒廃した水田



農業振興対策

問 農業の基本的振興対策は。

答 農業法人や農業公社等の組織の在り方や育成を検討する。

柏床「所信表明に農業の基本的振興対策について述べられているが具体的事項は。町長「1期目は一般農家の

所得向上の支援策を重点的に取り組んだ。2期目は農業組織のあり方や育成について、農協、民間企業等との連携し、高収益作物への転換や新規就農希望者の雇用など、法人組織の拡大も含めて農業団体のあり方を検討していく。

柏床「1期目の4年間の農家の所得向上支援策の実績の検討が必要。次回以降回答頂きたい。

一般農家の育成・新規就農等については、産業課長「新規就農者は企業の農業経営の育成(トマト農家)、一般農家の育成と分けて対応したい。一般農家経営形態が様々、出荷量の確保と品質の向上を指導していきたい。

柏床「高収益作物への転換とは。

町長「規模を大きくし組織の統合・連携し、国の補助事業を使い基盤の整備を行い(例えば40ha・50ha)一部を畑地化しトマト・ぶどうの生産拡大を考えている。

問 農家の高齢化・生産減少、離農に対し後継者育成は。

答 離農農家対策・兼業、定住対策、まちづくり施策など複合的に。

柏床「今後の農業後継者の育成は。

町長「農業後継者の育成には非常に苦慮している。

離農される農家の、農用機械や農地をまとめて借り受けて就農する方法や、「半農半X」の農業経営、退職後のUターン、家庭菜園からのステップアップ支援等の多岐にわたる方策を考える必要がある。

農業後継者の育成確保は、町外からの定住対策やまちづくり施策と一体となった取り組みの中でも進めたい。柏床「国の新規就農者の事業は収入のハードルが高い。他の構想は。

産業課長「企業的農業経営者の育成と一般作物栽培の農家の育成と分けて考えた

い。国の補助事業での新規就農は（企業的農業経営）トマト農家への就農、一般農家は様々なので、目的に沿う指導を産業課のほうでも考えたい。

柏床Ⅱ離農農家との事業継承の実績は。

町長Ⅱ1件該当があったが、事業継承とはならなかった。

問 地域特産物トマト、ぶどう以外の開発は。

答 新規特産品の開発は現状考えていない。提案などあれば検討。

柏床Ⅱトマト・ぶどう以外の作物開発は。

町長Ⅱ現在のトマト、ぶどうについては、「市場」という大きな販路を確保しており、引き続き振興作物として支援していく。

ゼロから全く新しい特産品の開発は、現状は考えていない。関係機関から新たに提案などあれば検討していきたい。こんにゃくや花卉、ブルーベリー等の特産

品は、引き続き振興作物として支援する。

柏床Ⅱ一般農家の野菜の作物指導などは出来ないか。産業課長Ⅱ産直市場へ一時期に同種の野菜が出荷される状況にあるが、町としては指導しにくい。個別農家で検討対応いただきたい。

油木百彩館



問 さんわ182ステーションと油木百彩館の販売手数料の差（3%）について。

答 現状では、会社の判断もやむを得ない。

柏床Ⅱ産直市場の手数料の3%差について町長の見解は。

町長Ⅱ現在、さんわ182ステーションの販売手数料は15%で、油木百彩館の販売手数料は18%と、3%の差があることはご承知のとおり。会社方針として統合前の手数料のまま、町として特に申し上げることはない。油木百彩館の経営も大変厳しい状況で会社の判断もやむを得ないものと考ええる。

また、出資者としても百彩館の運営について、活用する方法も含め、模索が続いている。

柏床Ⅱ会社は一つなので、販売手数料は同じであるべき。再度考え方を問う。

町長Ⅱ差は、私もお聞きしている。現在も議論中。現在は、店舗間の流通もしているが、出荷した店舗の手数料、どうにかたちが望まれるのか検討したい。

問 地産地消給食での生産者紹介を動画では出来ないか。

は出来ないか。

答 活用に向け検討する。

柏床Ⅱ動画を使って生産者紹介は出来ないか。教育長Ⅱ神石高原ランチを学期に1回実施している。紙媒体により食材や生産者の思いを紹介している。動画による紹介は、ICT機器が充実したので、現在の取り組みと合わせて、活用に向け検討する。

問 農業アドバイザーの配置は出来ないか。

答 農協での対応を。

柏床Ⅱ兼業農業者の拡大など一般の農家や家庭菜園からのステップアップなど、業の拡大と農業改良普及員を兼ねた農業アドバイザーの配置は出来ないか。

町長Ⅱ専門は農協で、個々の農家指導や栽培指導にあたっておられる。新たな農産物の紹介や栽培指導等も含めて、まずは農協の方でご対応をお願いしたい。

災害復旧の進捗状況は

問 農地の災害復旧の進捗状況は。

答 現在65%完了。

柏床Ⅱ平成30年7月豪雨災害で、農地（田・畑）復旧工事の進捗状況は。

建設課長Ⅱ現在、田と畑の工事完了件数は126件で65%完了している。冬季の期間に大部分の農地の災害復旧が完了するよう請負業者と協議を進める。

復旧が完了した水田



あたらしい議会構成が決まりました。

神石高原町議会構成 (2020年12月8日改選)

議長	橋本輝久
副議長	寄定秀幸
監査委員	木野山孝志

常任委員会			
総務文教常任委員会		産業建設常任委員会	
委員長	横山素子	委員長	藤田晃己
副委員長	小川善久	副委員長	久保田龍泉
委員	寄定秀幸	委員	橋本輝久
//	木野山孝志	//	小川清治
//	柏床由夫	//	林憲志

神石高原町議会議員議席番号氏名	第10番	橋本輝久
	第9番	寄定秀幸
	第8番	藤田晃己
	第7番	木野山孝志
	第6番	小川清治
	第5番	久保田龍泉
	第4番	横山素子
	第3番	林憲志
	第2番	小川善久
	第1番	柏床由夫

議会運営委員会		議会広報常任委員会	
委員長	久保田龍泉	委員長	林憲志
副委員長	小川清治	副委員長	小川善久
委員	藤田晃己	委員	橋本輝久
//	木野山孝志	//	寄定秀幸
//	横山素子	//	柏床由夫

福山地区消防組合議会		広島県後期高齢者医療広域 連合議会	
組合議員	小川清治	連合議員	久保田龍泉



写真は、2017年12月の様子

今回は、油木地区東油木自治振興会細田班の細田営農組合年末餅つき紹介をします。

細田営農組合 年末餅つき！

地域の話題

細田営農組合では、約20年前から地域交流の一環として営農組合で年末の30日に餅つきを行っておられます。個々の家での餅つきが出来にくくなって来たのを期に始められ、これまで集会所の外部の拡張や釜土など匠の方の自作、すごいです。

例年、餅つきの後、交流会を行われ、多い年には30数日をつく事もありました。が昨年(令和2年)は18日の餅をつかれました。これからも継続されることとします。